



**2025年8月期第1四半期
決算説明資料**

ペイクラウドホールディングス株式会社
東証グロース：4015
2025年1月14日

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 事業別業績・指標
4. Appendix

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 事業別業績・指標

4. Appendix

1. 売上高 **2,342**百万円 (対前年同期比 +125.4%)
調整後EBITDA **287**百万円 (" +139.6%)
営業利益 **151**百万円 (" +201.5%) を計上
過去最高の1Q業績で2025年8月期をスタート

2. クラウドポイント社^(注)の業績を当期から通期で連結

加えて、以下の要因による売上・利益が1Qから想定を上回る進捗

キャッシュレスサービス事業：新サービス導入や既存顧客での独自Pay決済割合増など

デジタルサイネージ関連事業：ファーストフード、コンビニエンスストア等の
多店舗を中心とした導入増など

3. グループ通算制度の適用により、税前利益に対する純利益比率が改善
前期末23.0%が、1Q末は41.6%。純利益65百万円を計上

2025年8月期 第1四半期連結業績概況

売上高／前年同期比／対通期進捗率

2,342百万円 / +125.4% / **26.0%**
+1,303百万円

- 2024年8月期1Q業績は、クラウドポイント社の経営統合前であり、当該社の業績は非連結。2025年8月期から通期で業績を連結。および各事業の足もとの業績好調により、1,303百万円増加。

調整後EBITDA／前年同期比／対通期進捗率

287百万円 / +139.6% / **28.7%**
+167百万円

- 上記売上高の考察の要因により調整後EBITDA、営業利益も想定を上回る結果。

営業利益／前年同期比／対通期進捗率

151百万円 / +201.5% / **30.3%**
+101百万円

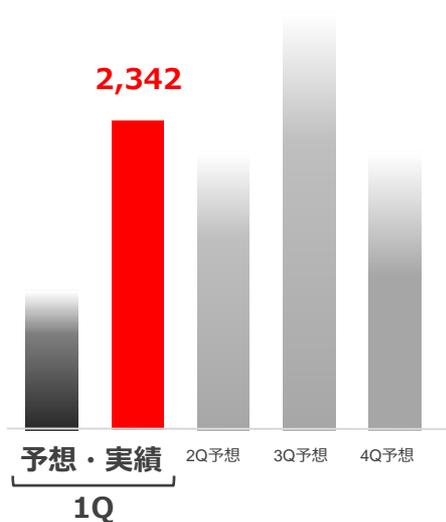
※調整後EBITDAは営業利益、減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）株式報酬費用の合計

2025年8月期 第1四半期の業績について

各事業の業績は、想定を上回る順調な伸長。キャッシュレスサービス事業への投資を吸収し、利益面でも想定以上の達成。なお、1Qの上振れは、デジタルサイネージ関連事業が主たる要因。2Qは想定通りに推移すると考えているが、需要が強い状況が継続すると期待している。

売上高

(単位：百万円)



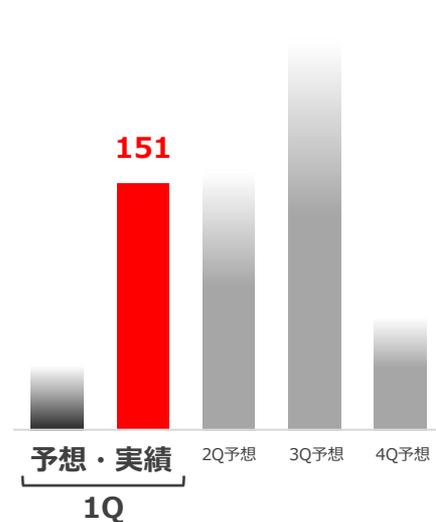
調整後EBITDA

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



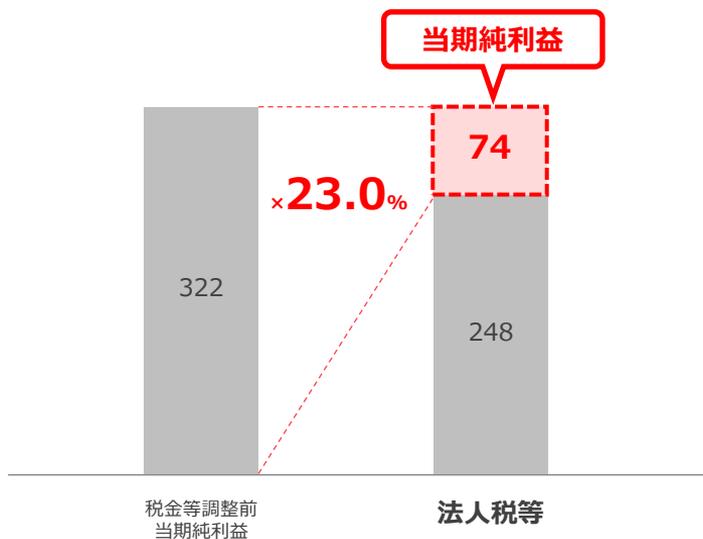
(注) 2024年8月期よりEBITDAの調整項目に株式報酬費用を追加：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む） + 株式報酬費用

2025年8月期 第1四半期の税前利益に対する純利益比率について

2024年8月期： 当社国内グループ企業内で課税対象利益を抑えることができる「グループ通算制度^(注)」は非適用。
 当期純利益は74百万円で、税金等調整前当期純利益に対し23.0%。

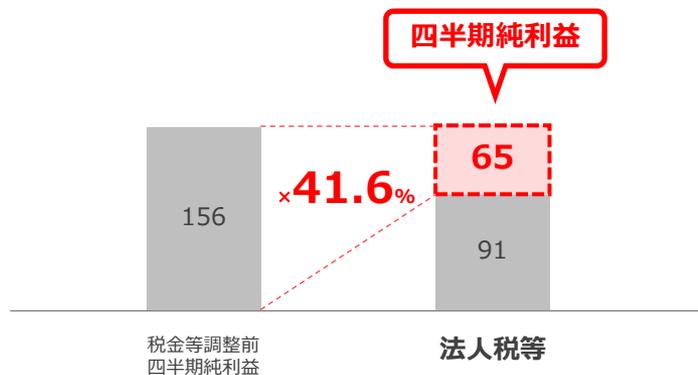
2025年8月期： 本制度を適用。1Q税前利益に対し純利益額は41.6%に改善し、65百万円を計上。

2024年8月期（通期） (単位：百万円)



グループ
通算制度導入

2025年8月期（1Q） (単位：百万円)



(注) 2024年9月2日公表「グループ通算制度の適用開始に関して」を参照。

1. 連結業績及びビジネス概況

2. 決算ハイライト

3. 事業別業績・指標

4. Appendix

2025年8月期 第1四半期業績概要（連結損益計算書）

前年同期比で、連結売上高は+1,303百万円（+125.4%）、調整後EBITDAは+167百万円（+139.6%）増加。
2025年8月期通期業績予想に対する進捗率も順調に推移。

（単位：百万円）

	2024年8月期 1Q	2025年8月期 1Q	増減	通期業績		主な要因
				予想	進捗率	
売上高	1,039	2,342	+1,303 +125.4%	9,000	26.0%	<ul style="list-style-type: none"> 売上高： 2024年8月期1Q業績は、クラウドポイント社の経営統合前であり、当該社の業績は非連結。2025年8月期から通期で業績を連結。および各事業の足もとの業績好調により、1,303百万円増加。 調整後EBITDA・営業利益： 上記売上高の考察の要因により調整後EBITDA、営業利益も想定を上回る結果。 純利益： グループ通算制度の適用により増益効果あり
調整後EBITDA	120	287	+167 +139.6%	1,000	28.7%	
営業利益	50	151	+101 +201.5%	500	30.3%	
経常利益	46	149	+103 +222.9%	—	—	
税金等調整前 四半期純利益	46	156	+110 +237.7%	—	—	
四半期純利益	▲1	65	+66 —	—	—	

2025年8月期 第1四半期業績概要（連結貸借対照表）

好調な業績推移により、総資産が84.4億円、純資産は43.5億円となった。
のれんの償却も計画どおり進んだ上で、純資産も増加。純資産に対するのれんの比率も53.5%から50.4%に低下。

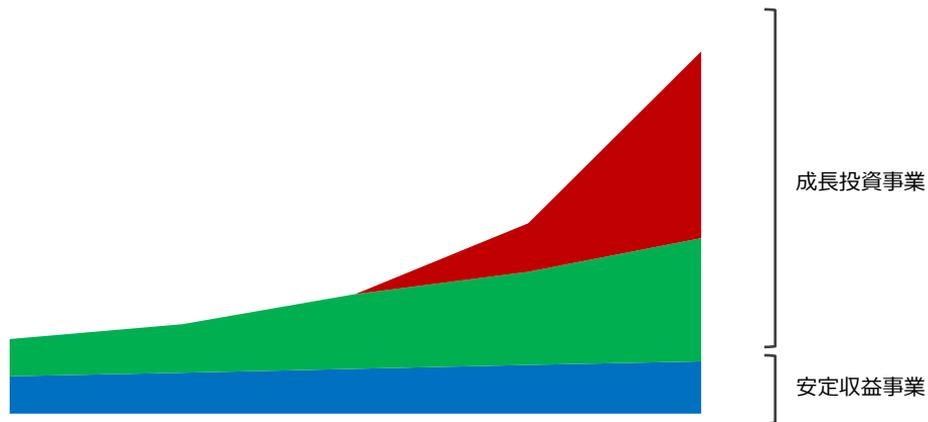
2024年8月期 期末 (単位: 百万円)		2025年8月期 1Q末 (単位: 百万円)	
流動資産 4,834 現預金3,228 受取手形、売掛金・契約資産 1,090 棚卸資産 375	流動負債 2,803 買掛金 378 借入金 704 その他 1,684 固定負債 1,243 長期借入金 1,096 純資産 4,215 (自己資本比率50%)	流動資産 5,067 現預金 3,097 受取手形、売掛金・契約資産 1,262 棚卸資産 512	流動負債 2,905 買掛金 694 借入金 880 固定負債 1,191 長期借入金 1,055 純資産 4,350 (自己資本比率50.5%)
総資産 8,262		総資産 8,448	
資産の部	負債及び純資産の部	資産の部	負債及び純資産の部

1. 連結業績及びビジネス概況
2. 決算ハイライト
3. 事業別業績・指標
4. Appendix

2025年8月期 第1四半期事業別業績（全体）

各事業の位置づけと売上構成は、以下の通りです。

各事業の位置づけ



成長投資事業

キャッシュレスサービス事業

決済手数料収入を中心とした
リカーリングビジネス

デジタルサイネージ関連事業

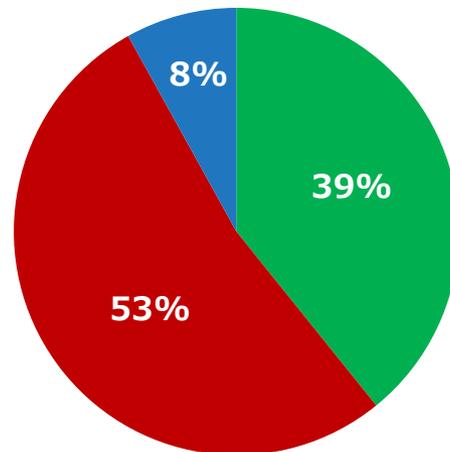
新規設置と定期的にリプレイスオー
ダーがあるスポットビジネスと保
守・システム 利用料のリカーリン
グビジネス

安定収益事業

ソリューション事業

低い解約率で、安定的な収益を確保
するリカーリングビジネス

売上高構成（2025年第1四半期実績）

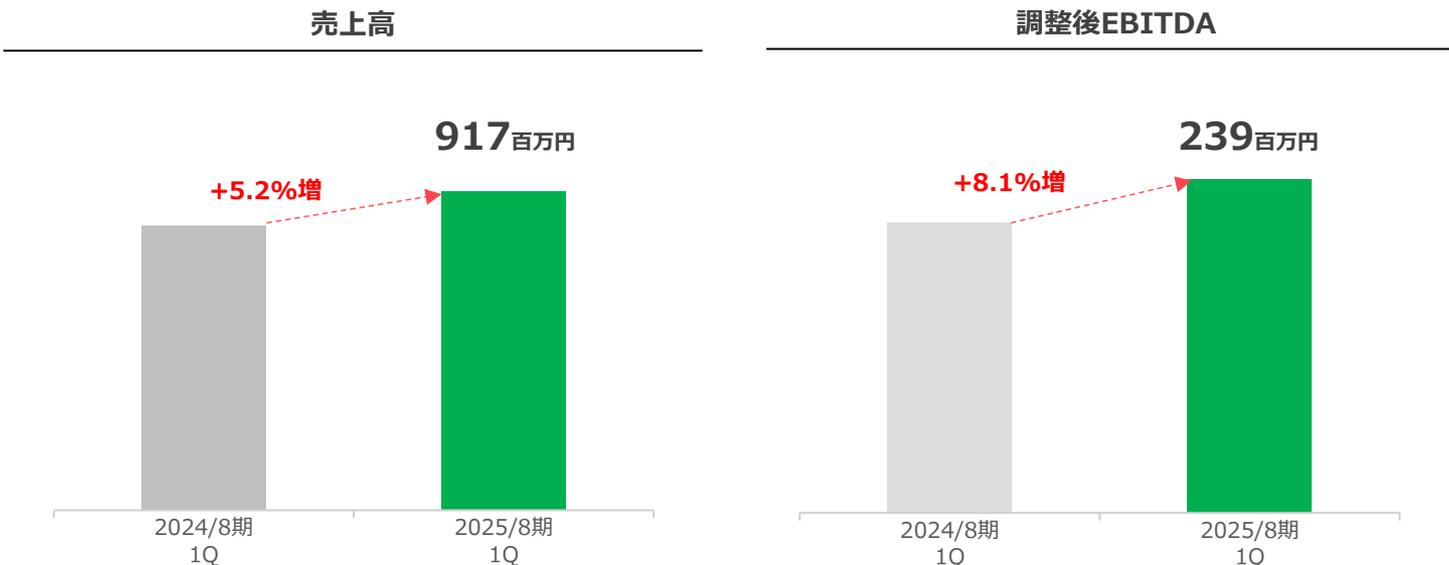


- キャッシュレスサービス事業
- デジタルサイネージ関連事業
- ソリューション事業

2025年8月期 第1四半期 キャッシュレスサービス事業の業績

売上高は前年同期比で45百万円増の917百万円。

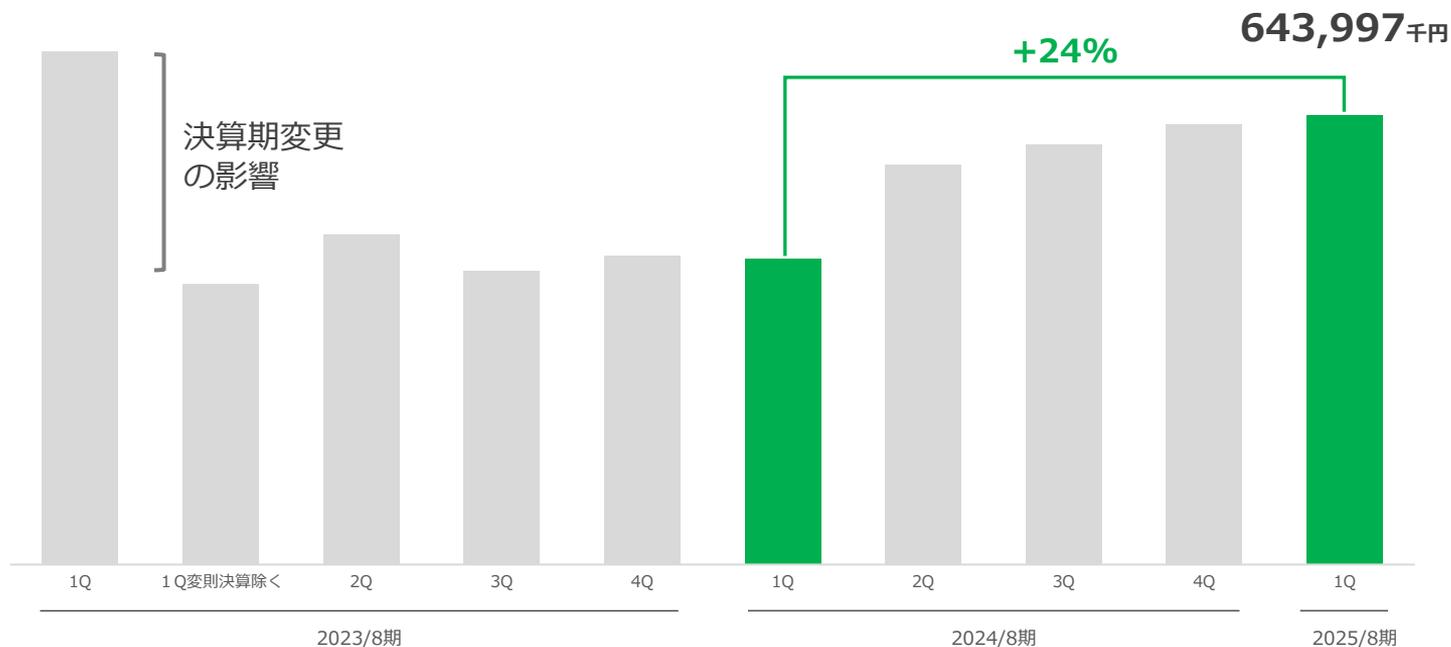
新サービス導入や既存顧客での独自Pay決済割合増、既存顧客に対するシステム利用料の価格改定が浸透したことにより売上高が増加。



キャッシュレスサービス事業のリカーリング売上について

2025年8月期第1四半期のリカーリング売上は、643,997千円で堅調に推移。前年同期比+24%。

リカーリング売上の推移



契約状況に応じた価格改定の浸透効果について

2024年8月期下期にあたる3月頃より契約状況に応じた価格改定の浸透効果が見え始め、MRR成長率の前年同月比が約120%程度で推移。これにより、コスト上昇分の吸収ができています。

2025年8月期から、通期で効果が継続する見通し。



コスト上昇と当社への影響

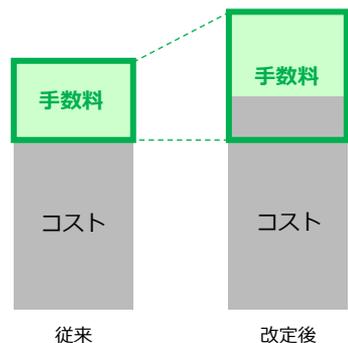


エネルギーコストの高騰
→サーバー費用の増加



人員不足・労務費の高騰
→販管費・原価の件数増加

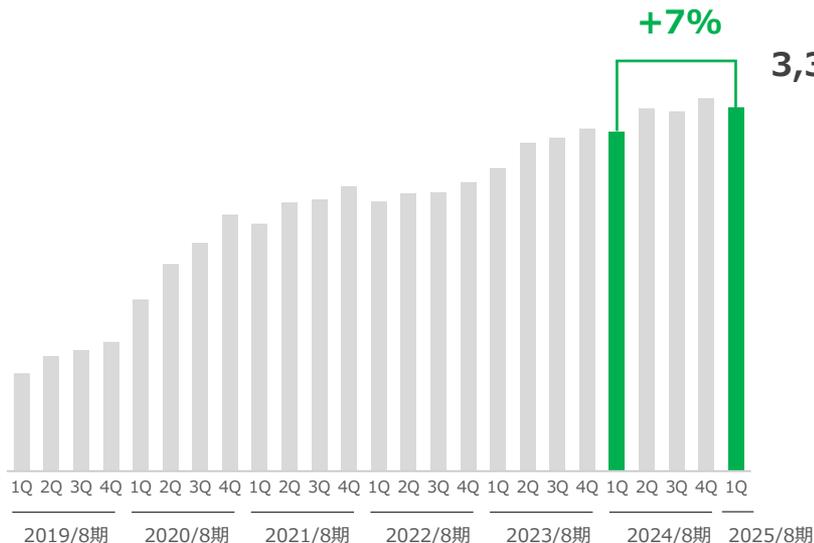
価格改定イメージ



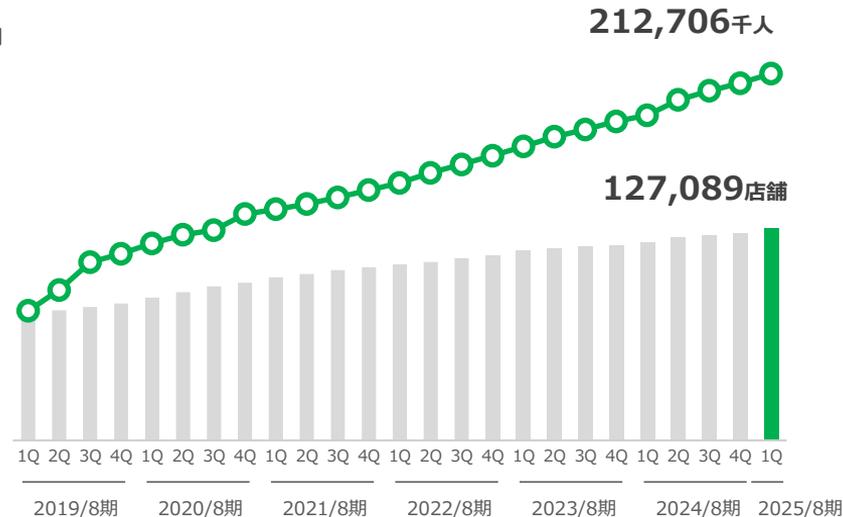
2025年8月期 第1四半期 キャッシュレスサービス事業の主要KPI

第1四半期の決済取扱高は3,398億円となり、引き続き堅調に推移。
新規顧客獲得により、累計店舗数・累計エンドユーザー数ともに堅調に拡大している。

決済取扱高推移



累計店舗数・累計エンドユーザー数推移



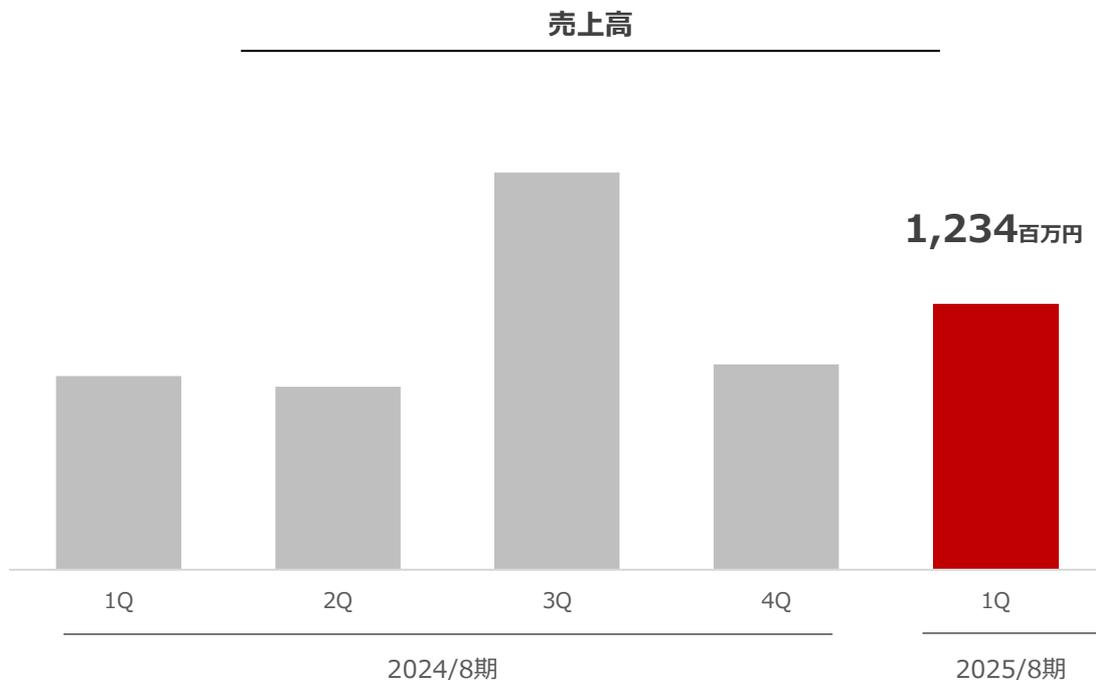
(注) 2022年8月期までは、旧アララとバリューデザインのKPIの合算値を記載

(注) リカーリング売上高に直結する取扱高を下記の通りとし、決済取扱高と定義

1. 独自Payの決済額 (従前の“決済額”)
2. クレジットカード会社との包括契約を介した独自Payへの入金額 (当期から指標に追加)

2025年8月期 第1四半期 デジタルサイネージ関連事業の売上高推移

足元の旺盛な需要により、2025年8月期第1四半期も順調に伸長し、売上高は1,234百万円を計上。ファーストフードなど多店舗を展開する既存顧客でのデジタルサイネージ導入計画をはじめとして、商業施設への大型LED表示機や、オフィスへのデジタルサイネージの導入が堅調に進み、グループ全体の売上増に貢献。



売上の変動について

多店舗展開企業をはじめ、デジタルサイネージの導入は、各店舗への納期計画に基づく。但し、実際の納期については、企業側の繁忙・閑散にあわせ、計画の組み直しが発生することから、売上の変動が生じる。

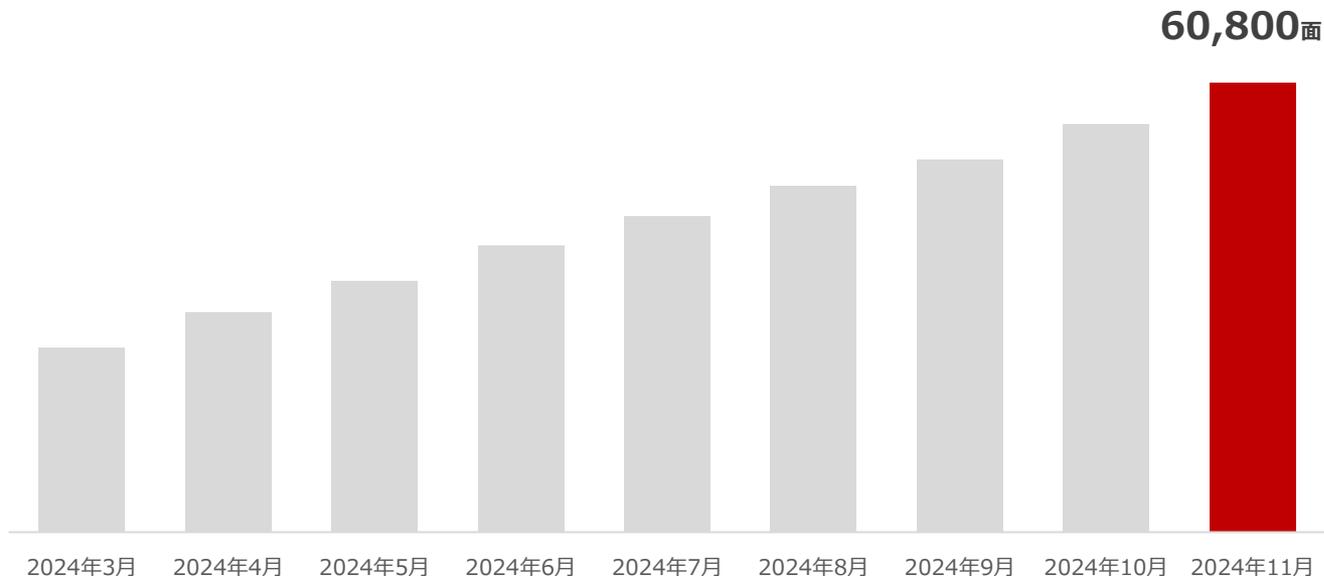


(注) 2024年8月期3Qより、業績を連結。

2025年8月期 第1四半期 デジタルサイネージ関連事業の主要KPI

デジタルサイネージの新規設置面数は1Qも各月で着実に推移し、累計デジタルサイネージ設置面数は2024年8月末から2,950面増え60,800面。
大手コンビニエンスストア店舗内メニューボード（リテールメディア）、ファーストフード店などを中心にデジタルサイネージの導入が進んだ。

累計デジタルサイネージ設置面数

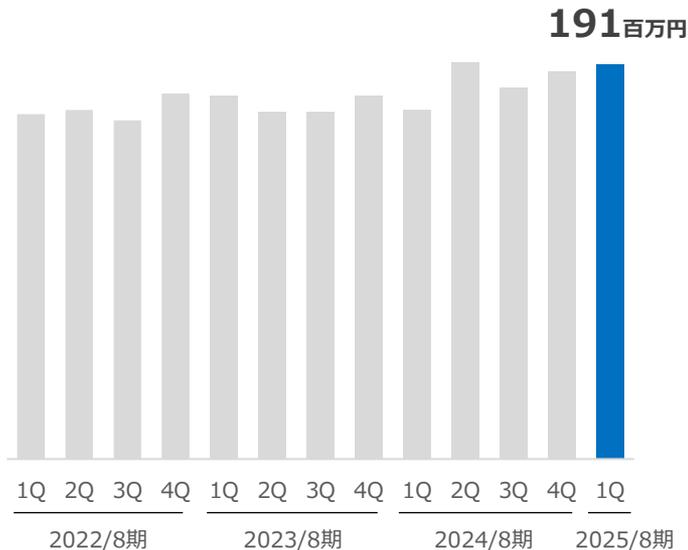


クラウドポイント最新事例紹介ページ
<https://www.cloudpoint.co.jp/case/>

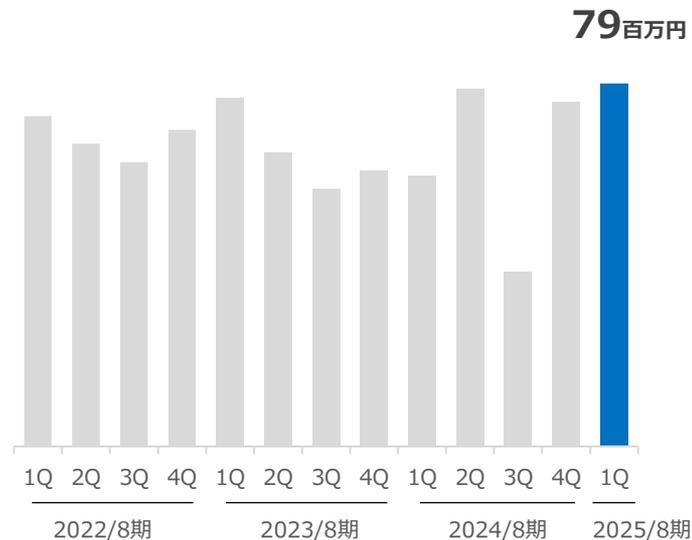
2025年8月期 第1四半期 ソリューション事業の業績

メッセージングサービスにおいては、新規顧客の獲得が計画通りに推移。
ソリューション事業全体での売上高は191百万円、調整後EBITDAは79百万円。

売上高推移



調整後EBITDA推移



1. 連結業績及びビジネス概況

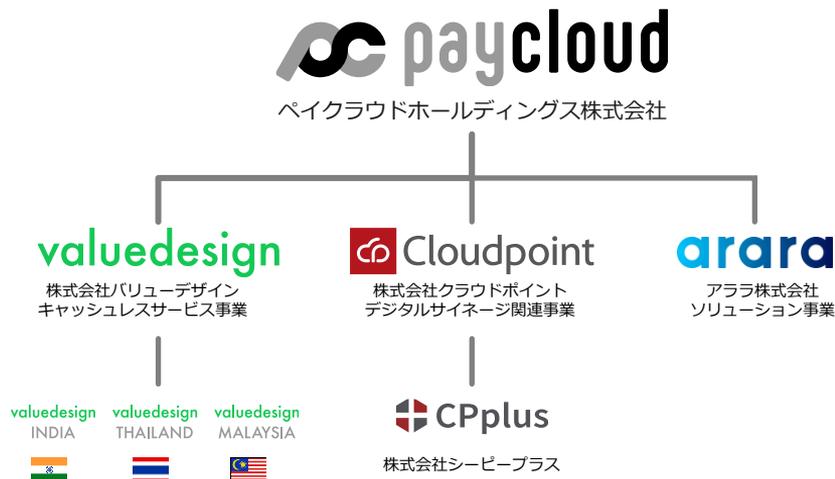
2. 決算ハイライト

3. 事業別業績・指標

4. Appendix

企業概要

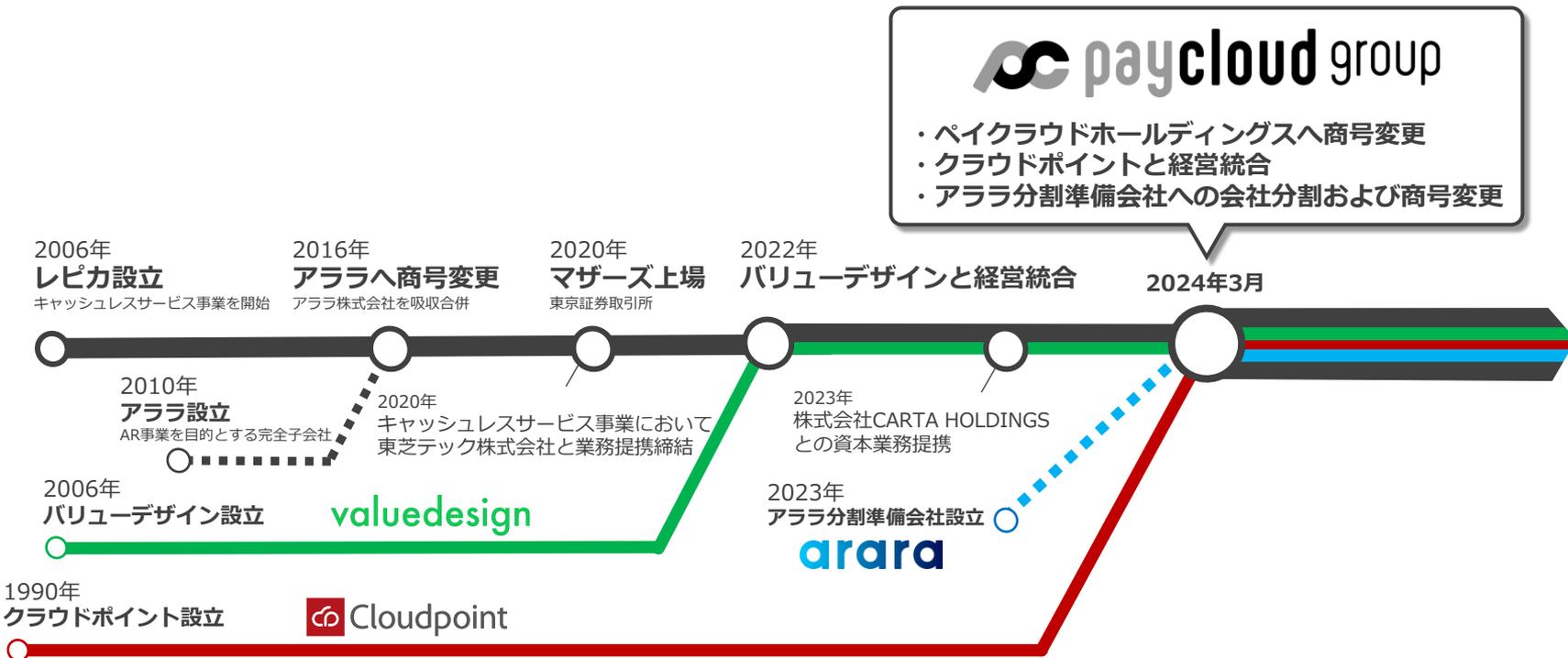
- ・2024年3月1日に純粋持株会社体制への移行完了。
- ・ペイクラウドホールディングスは、バリューデザイン、クラウドポイント、アララを傘下におく。



会 社 名	ペイクラウドホールディングス株式会社	
設 立	2006年8月	
所 在 地	東京都港区南青山2-24-15 青山タワービル	
従業員数 (連結)	276名 (2024年8月末時点)	
取 締 役 (注)	取締役会長	三浦 巖嗣
	代表取締役副会長	岩井 陽介
	代表取締役社長	尾上 徹
	社外取締役	種谷 信邦
	社外取締役 (監査当委員)	金子 毅
	社外取締役 (監査当委員)	井上 昌治
事 業 内 容	ペイクラウドグループ各社の経営管理事業等	
	資 本 金	1,021百万円 (2024年8月末時点)
	子 会 社	株式会社バリューデザイン (キャッシュレスサービス事業) 株式会社クラウドポイント (デジタルサイネージ関連事業) アララ株式会社 (ソリューション事業)

当社の歴史

- キャッシュレスサービス事業からスタートし、政府が掲げるキャッシュレス化推進を背景に事業成長。
- 2022年にバリューデザインとの経営統合でキャッシュレスサービス事業をさらに拡大。
- デジタルサイネージを手掛けるクラウドポイントとの経営統合を経て、リテールマーケティング分野へ事業拡大。



重要指標等の定義

カテゴリ	用語	定義
重要指標	決済取扱高	独自Payにおいて、バリューデザインの独自Pay決済額及びクレジットカード決済額の合計
	顧客社数・導入企業数	当社グループ各社のサービスを活用している顧客の数
	調整後EBITDA	営業利益+減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）+株式報酬費用
	顧客	当社グループ各社のサービスを活用する企業
	エンドユーザー	当社グループ各社のサービスを利用する最終消費者
	リカーリング売上	継続的なサービス提供等により、長期的に収益を得られる売上
	SaaS（Software as a Service）	クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを經由して利用できるサービス
キャッシュレスサービス	独自Pay	キャッシュレスサービスを利用し、顧客が店舗の常連客向けに提供する特典や優遇サービス
	チャージバック	メーカーの販促費を、エンドユーザーと顧客に独自Payで還元する販促サービス
	Value Card	キャンペーン提案からオペレーションまでサポートする独自ブランドのクラウド型電子マネー発行サービス
	Value Insight	POSの購買情報やアプリの利用動向等のデータを統合・分析するSaaS型のデジタルマーケティングツール
	Value Gift	メールやSNS等を通じてデジタル化された残高情報を送付できるデジタルコード発行サービス
	Value Wallet	独自Pay機能を搭載した店舗オリジナルアプリ
	Value Gateway	独自Payと同時に、各種QR等コード決済サービスの導入をサポートするサービス
	ディストリビューション機能	直接顧客には販売せず、販売チャネルへサービスを卸す機能
ソリューション	アララ メッセージ	到達率向上・自動化・効果測定により円滑なメールマーケティングを実現するメール配信システム
デジタルサイネージ関連サービス	CloudExa	専用の配信管理アプリケーションを介して、インターネット上に設けられたCloudExaサーバにアクセスし、映像素材のアップロードや放映スケジュールの編成、放映端末への遠隔配信・監視操作が行えるデジタルサイネージシステム
	LED WORLD	クラウドポイント社が販売を行うフルカラーLEDビジョンのオリジナルブランド

月次報告・メディアでの発信

2023年8月期以降、ホームページ上で月次業績報告の開示。

四半期ごとの決算説明をIRTVにて公開。X（旧Twitter）にて公式チャンネルや副社長の井上による情報発信中。

月次業績報告



メディア・SNSでの発信



ペイクラウドHD【公式】



ペイクラウドHD副社長 井上



本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものです。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等に基づいております。